

処方箋医薬品^{注1)}
日本薬局方
注射用水

貯 法：室温保存

使用期限：外箱、容器に表示の使用期限内に使用すること。

注 意：取扱い上の注意の項参照

注1)注意—医師等の処方箋により使用すること

注射用水	許可番号	薬価収載	販売開始
20mL管P ^{注2)}	13A1X00008	2010年2月	2010年2月
100mL瓶P ^{注2)}		1990年7月	1990年10月
500mL瓶P ^{注2)}		薬価基準収載	1999年9月
500mL袋 ^{注2)}		2005年7月	2006年6月
500mL瓶P広口開 ^{注2)}		薬価基準収載	1988年11月
500mL瓶P細口開 ^{注2)}		薬価基準収載	2001年12月
1000mL瓶P広口開 ^{注2)}		薬価基準収載	1987年10月
1000mL瓶P細口開 ^{注2)}		薬価基準収載	2001年12月

注2) 管P：プラスチックアンプル 瓶P：プラスチックボトル
袋：ソフトバッグ 開：開栓型

※※【組成・性状】

※1. 組 成

本剤は1管、1本又は1袋中に、注射用水を20mL、100mL、500mL又は1000mL含有する。

2. 製剤の性状

本剤は無色透明の液である。

【効能・効果】

注射剤の溶解希釈剤、注射剤の製剤

【用法・用量】

本剤の適量を取り、注射用医薬品の溶解、希釈に用いる。
また、注射剤の製剤に用いる。

【使用上の注意】

適用上の注意

1. 調製時

注射剤の溶解・希釈液として使用する場合は、注射用水が適切であることを確認すること。

2. 投与前

- 1) 投与に際しては、感染に対する配慮をすること(患者の皮膚や器具の消毒)。
- 2) 開封後は直ちに使用し、残液は決して使用しないこと。

3. 投与時

溶解・希釈した注射剤の用法・用量及び使用上の注意に留意して投与すること。

【取扱い上の注意】

1. 輸液セットの瓶針又は混注の際の注射針は、ゴム栓の刺針部(凹部)に垂直に刺すこと。斜めに刺すと排出口側壁を刺通し、液漏れの原因となることがある。また、同一箇所を繰り返し刺さないこと。
2. 内容液に着色又は混濁等の異常が認められる場合は、使用しないこと。
3. 容器の目盛りはおよその目安として使用すること。
4. 連結管による混合投与の場合は、Y字管連結にして使用すること(U字管連結はしないこと)。
5. プラスチックボトル
 - 1) 通気針は不要である(混注量により通気針が必要な場合があり、また、輸液の液量が少なくなると排出速度が低下してくるので、設定の投与速度を維持して使用する場合には通気針を用いること)。
 - 2) プルオフキャップ及び細口開栓型キャップの取り外し方は、裏面を参照すること。
6. ソフトバッグ
 - 1) 包装内に水滴が認められる場合には使用しないこと。
 - 2) 排出口をシールしているフィルムがはがれている場合は使用しないこと。
 - 3) 通気針は不要である。

※【包 装】

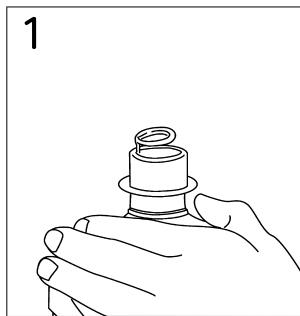
20mL×50管(プラスチックアンプル)
100mL×10本(プラスチックボトル)
500mL×20本(プラスチックボトル)
500mL×20袋(ソフトバッグ)
500mL×20本(プラスチックボトル広口開栓型)
500mL×20本(プラスチックボトル細口開栓型)
1000mL×10本(プラスチックボトル広口開栓型)
1000mL×10本(プラスチックボトル細口開栓型)
(プラスチックアンプルはポリエチレン製容器である。)
(プラスチックボトルはポリプロピレン製容器である。)
(ソフトバッグはポリエチレン製容器である。)

【文献請求先】

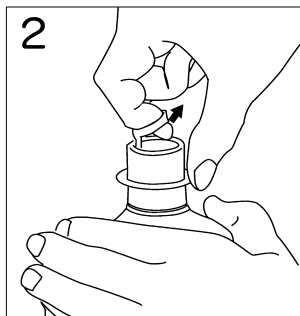
光製薬株式会社 医薬情報部
〒111-0024 東京都台東区今戸2丁目11番15号
TEL 03-3874-9351 FAX 03-3871-2419

プルオフキャップの取り外し方

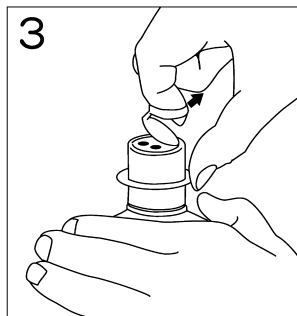
① 点滴型：100mL、500mL(プラスチックボトル)



プルオフリングの支柱部が向こう側になるようにボトルを保持します。

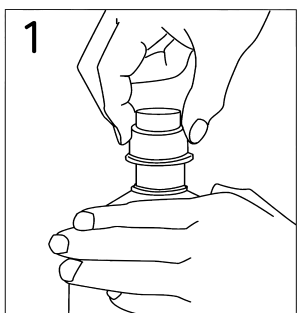


プルオフリングの上から人差し指を入れ、リングに指をかけます。

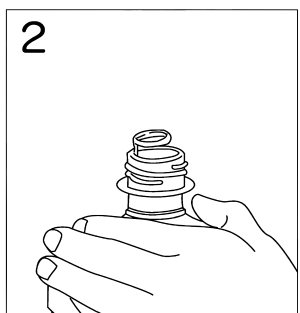


親指でささえ、手前方向へ約45度にゆっくり引くと取り外せます。

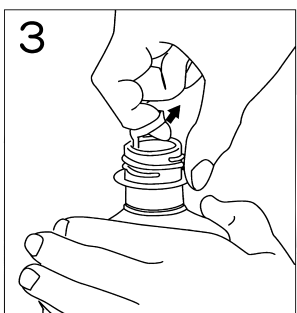
② 広口開栓型：500mL、1000mL(プラスチックボトル)



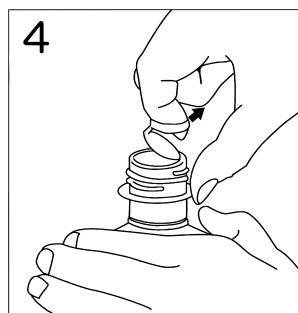
オーバーキャップを回し、開けます。



プルオフリングの支柱部が向こう側になるようにボトルを保持します。



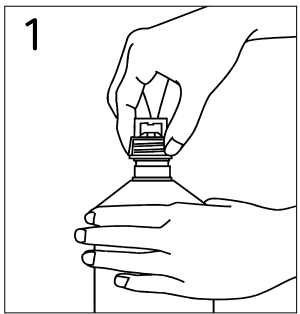
プルオフリングの上から人差し指を入れ、リングに指をかけます。



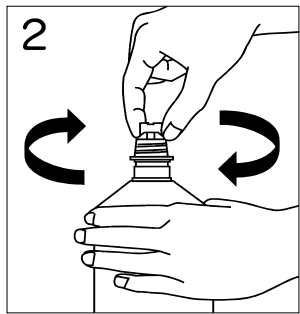
親指でささえ、手前方向へ約45度にゆっくり引くと取り外せます。

細口開栓型キャップの取り外し方

500mL、1000mL(プラスチックボトル)



オーバーキャップを回し、開けます。



つまみ部分をねじると、切り離せます。

製造販売元



光製薬株式会社

東京都台東区今戸2丁目11番15号